

平成30年度 連携・協力事業の実施状況について

教職大学院専門部会

【プロジェクト名】 学び続ける学校トップリーダーの資質向上事業

1 プロジェクトの目的・概要

教職大学院専門部会は、佐賀県教育委員会と佐賀大学大学院学校教育学研究科(以下、「佐賀大学教職大学院」)の連携・協働により、「学び続ける教師」の育成を目指すとともに、佐賀県における教職員の生涯学習システムを構築していくことを目的とする。

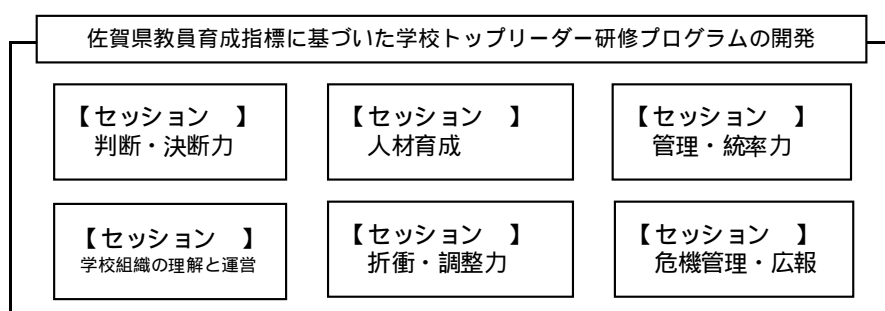
そこで本事業では、佐賀県における「チーム学校」の実現に向けた推進役となる新たな学校管理職を「学校トップリーダー」と位置づけ、子どもを支えるネットワークの中の「学校」を意識し、多様で複雑な教育課題に対して組織的・効果的な対応を行うことができる「チーム経営」のマネジメント力を高めるため、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会が組織的に連携・協働して、学び続ける学校トップリーダーの資質能力の向上に取り組む。

特に平成30年度は、佐賀県教員育成指標に基づき、学校における働き方改革の要請に対応する力を育成する研修プログラムを開発した。具体的には、佐賀県教員育成指標で掲げられた10種類の資質のうち、佐賀県の教育課題、学校における働き方改革に対応する、「判断・決断力」、「管理・統率力」、「人材育成」、「学校組織の理解と運営」、「折衝・調整力」、「危機管理・広報」という6つを取り上げた。

また、研修の内容としては教職員の働きやすい環境、危機管理など、学校における働き方改革の実現に向けた方策に関する内容を取り入れ、「レクチャー」、「ワークショップ」、「リフレクション」等によるアクティブ・ラーニング型の研修を行った。

2 平成30年度の実施状況

(1) 研修会の構造



研修プログラムは、セッション から の全6回(1セッション4時間)の構成とした。具体的には、佐賀県教員育成指標で掲げられた10種類の資質のうち、佐賀県の教育課題、学校における働き方改革に対応する、「判断・決断力」、「管理・統率力」、「人材育成」、「学校組織の理解と運営」、「折衝・調整力」、「危機管理・広報」という6つを取り上げた。

(2) 対象、人数、期間、会場、日程、講師

対象・人数：

小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の校長等 20 名

期間：

平成 30 年 7 月 24 日～12 月 4 日

日程・会場・参加人数・講師：

セッション：7 月 24 日（火）13 時 15 分～16 時 40 分

佐賀県教育センター 第 5 研修室・17 名

伊東幸一郎（佐賀県教育庁学校教育課）

中島秀明（佐賀大学教職大学院教授）

セッション：8 月 9 日（木）13 時 15 分～16 時 40 分

佐賀県教育センター第 4 研修室・17 名

鈴木建生（ユマニテク短期大学副学長）

セッション：8 月 20 日（月）13 時 15 分～16 時 40 分

佐賀県教育センター 第 5 研修室・18 名

波多江俊介（熊本学園大学准教授）

セッション：10 月 16 日（火）13 時 15 分～16 時 40 分

佐賀県教育センター 第 5 研修室・14 名

中野武志（株式会社 中野建設 代表取締役社長）

瀬戸真樹（佐賀大学教育学部附属特別支援学校校長）

中尾聡彦（佐賀大学教育学部附属小学校校長）

セッション：11 月 13 日（火）13 時 15 分～16 時 40 分

佐賀県教育センター 第 4 研修室・15 名

上野景三（佐賀大学教職大学院教授）

セッション：12 月 4 日（火）13 時 15 分～16 時 40 分

ホテルマリターレ創生 佐賀・16 名

内田信子（学校法人旭学園理事長）

(成果)

各セッションの終了後に受講者にアンケート調査を行った。研修に対するアンケート結果を表 1 に示す。アンケートは、研修内容に対する理解度や満足度、今後の実践への活用可能性などの 8 項目について尋ねた。いずれの項目も平均値が 4 段階中の 3 点以上を示しており、本研修プログラムを肯定的に評価していたことが示唆された。特に今年度は、佐賀大学大学院教授、佐賀大学附属学校長、中野建設社長、佐賀女子短期大学理事長など、佐賀県内の教育資源を活用し研修を行ったことが、研修に対する肯定的な評価につながったのではないかと考えられる。

また、今年度も本事業を進めるに当たり「開発ワーキングチーム」会議を定期的開催し、現場にとって必要性のある研修となるよう、また実施がスムーズに行くように綿密な打ち合わせができた。教職大学院と教育委員会の当事者同士がコミュニケーションを多く取り、当該県の教育について熱意を持って議論することが大切であると感じた。

表1 各セッションに対する受講者の評価（標準偏差）

		セッション 判断・決断力	セッション 人材育成	セッション 管理・統率力	セッション 学校組織の理 解と運営	セッション 折衝・調整力	セッション 危機管理・広 報
1	本日の研修内容を理解することができた。	3.41 (0.50)	3.86 (0.35)	3.27 (0.67)	3.85 (0.36)	3.66 (0.72)	3.86 (0.35)
2	これまで知らなかった考え方や実践方法を学ぶことができた。	3.76 (0.43)	3.86 (0.35)	3.38 (0.69)	3.50 (0.65)	3.66 (0.61)	3.46 (0.74)
3	本日の内容は学校が直面する諸状況や課題を取り上げたものであった。	3.58 (0.61)	3.73 (0.59)	3.27 (0.75)	3.71 (0.46)	3.66 (0.61)	3.46 (0.74)
4	本日の内容は管理職の実践に役立つ内容であった。	3.82 (0.39)	4.00 (0.00)	3.38 (0.60)	3.78 (0.42)	3.73 (0.79)	3.86 (0.35)
5	本日の研修を通して、学校経営に主体的に参加する意欲が湧いた。	3.52 (0.62)	3.86 (0.35)	3.22 (0.64)	3.78 (0.42)	3.73 (0.59)	3.80 (0.41)
6	本日の研修は自身の力量の向上に有効であった。	3.76 (0.43)	4.00 (0.00)	3.33 (0.59)	3.71 (0.46)	3.73 (0.59)	3.80 (0.41)
7	本日の研修に満足している。	3.76 (0.43)	3.93 (0.25)	3.22 (0.54)	3.71 (0.46)	3.73 (0.59)	3.82 (0.52)
8	本日のような研修があればまた参加したいと思う。	3.82 (0.39)	3.93 (0.25)	3.27 (0.57)	3.64 (0.49)	3.66 (0.61)	3.79 (0.43)

注) 各質問に対して、1：当てはまらない、2：やや当てはまる、3：わりと当てはまる、4：とてもよく当てはまる、という4段階で回答を求めた。

（課題）

平成31年度以降も、佐賀大学教職大学院と佐賀県教育委員会において本事業を継続していくことで合意を得ている。次年度は、「佐賀県教員研修計画」(平成29年4月の改正教育公務員特別法の施行に伴う教員育成指標に基づいた教員研修計画)と本事業で開発した研修プログラムの内容や関係性等を協議し、佐賀県教員研修に組み込むことができるように進めていきたい。

働き方改革の必要性が言われる中、内容的に重複している研修や課題に対応していない研修などがないよう研修の内容を吟味し、現場にとって必要性のある研修となるように、佐賀県教育委員会とさらに連携・協働を深めていきたい。

3 今後の予定等

平成30年度については、すべての事業を終了した。次年度に向けて「開発ワーキングチーム」会議を継続的に開催していく予定。